



報道関係者各位

マスバランス方式による「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した容器包装」で初のエコマーク認定

公益財団法人日本環境協会(所在地:東京都千代田区、理事長:新美 育文)が運営するエコマークは、「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した容器包装」の認定基準で、初のエコマーク認定商品が誕生しましたので、お知らせいたします。

◇「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した容器包装」について

昨今、化石資源からプラスチックを製造する工程に、バイオマス原料由来の炭化水素類(バイオナフサなど)を混合し製造したプラスチックが欧州を中心に上市されています。日本でも、2020年頃から大手商社や石油化学事業者を中心に製品化や製造が開始され、今後拡大する動きがあります。このプラスチックは製造時のバイオマス原料の投入量と生産量をマスバランス方式と呼ばれる手法で管理し、バイオマス由来特性を割り当てることを特徴としています。

エコマークでは、2022年9月に「エコマーク認定基準における「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチック」の取扱方針」(<https://www.ecomark.jp/info/release/PR22-05.html>)を策定し、その取扱方針に基づき、2023年2月にエコマーク商品類型 No.140「飲食料品、化粧品、家庭用品などの容器包装 Version1」認定基準に、分類 Kとして、「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用したプラスチック製容器包装」認定基準(<https://www.ecomark.jp/nintei/140.html>)を制定しました。

◇エコマーク認定取得商品について

この度、本認定基準において、初めてのエコマーク認定商品(CO・OP 味付のり)が誕生しました。このバイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用した容器包装の認定は、国内の環境ラベル制度では初めてとなります。



認定番号:23 140 024

商品ブランド名:CO・OP 味付のり

型式・品番等:90枚

認定事業者名:日本生活協同組合連合会

マスバランス方式は、再生可能資源(バイオマス等)の活用を飛躍的に拡大させるとともに、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた過渡期の方法として国内でも普及することが見込まれており、環境省でも昨年度「マスバランス方式に関する研究会」(https://www.env.go.jp/recycle/plastic/related_information/workshop/workshop_00001.html)を開催し、その取り扱いについて議論を開始したところです。今回の認定を通じて、消費者の認知を進める一助となることを期待しています。

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課 担当:大澤
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
E-mail: info@ecomark.jp TEL: 03-5829-6284

<エコマークについて>

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度です。

1989 年に創設され公益財団法人日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。

エコマーク事務局ホームページでは、最新情報を随時アップしています。<https://www.ecomark.jp/>